

平成31年度 事業計画書

I 基本方針

栽培漁業による水産振興を図るため、「つくり育てる漁業」を推進する魚類・甲殻類・貝類の各種苗を生産し、必需者に供給するとともに、放流を行います。平成31年度は、県水産振興センター栽培漁業施設の3ヵ年度に渡る更新工事が完成した翌年度に当たり、竣工間もない育成棟を初めて使用することとなります。9月7～8日に秋田市で開催される第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会では、当協会が生産するマダイが御放流魚種、エゾアワビはお手渡し魚種となっており、万全の取組を行って参ります。また、当協会が毎年、産地市場休みの9月第2週の火曜日に開催して来ました放流式は、全国豊かな海づくり大会・あきた大会開催翌々日と日にちが近く、対応が厳しいことから、本年度の開催を見送ることとします。

II 各事業の実施計画

1 栽培漁業啓発普及事業

① 放流式の開催

例年9月第2火曜日に開催している当協会主催の放流式は、船川港が開催予定地ではありますが、第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会が9月7～8日開催されることから、第28回放流式の開催を平成32年度に順延いたします。

② 協会の事業内容を広く周知し、理解を得るためホームページで情報発信します。

URL <http://akita-saibai.com/>

2 受託事業

① 秋田県水産振興センターが飼育している水産動物の飼育管理業務を受託します。

対象：マダイ親魚、ヒラメ親魚、ガザミ種苗、アユ種苗、トラフグ種苗、キジハタ種苗等

② 一般社団法人日本釣用品工業会との間で、放流事業に関する契約を結び、種苗生産から放流までを行います。（詳細は4の③④⑤に掲載）

対象：ヒラメ種苗、クロソイ種苗、マダイ種苗

3 補助事業

① 栽培漁業総合推進対策事業（放流効果実証事業） 秋田県補助事業 マダイ、ヒラメ 6の①②に再掲

② 広域種資源造成型栽培漁業推進事業 （公社）全国豊かな海づくり推進協会補助事業（日本海北部海域栽培漁業推進協議会）

ヒラメ 4の③に再掲

4 種苗生産・供給事業

① クルマエビ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

放流用	県外（新潟、山形）	25mm	250千尾
-----	-----------	------	-------

② エゾアワビ（当協会アワビ種苗生産施設（にかほ市象潟町））

放流用	秋田県内各漁協配布	20mm	409千個
放流用	秋田県内各漁協配布	30mm	169千個
放流用	第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会		2千個
	計		580千個

③ ヒラメ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

放流用	秋田県内漁協	50mm	20千尾
放流用	広域種資源造成型栽培漁業推進事業	80～120mm	40千尾
放流用	第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会	80mm	1.5千尾
放流用	一般社団法人日本釣用品工業会放流事業	90mm	36千尾
	計		97.5千尾

④ クロソイ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

養殖用	個人配布	80mm	2.5千尾
放流用	一般社団法人日本釣用品工業会放流事業	80mm	20千尾
	計		22.5千尾

⑤ マダイ（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

放流用	第39回全国豊かな海づくり大会・あきた大会	80mm	1.6千尾
放流用	秋田県つり連合会マダイ稚魚放流事業	80mm	4千尾
放流用	一般社団法人日本釣用品工業会放流事業	80mm	20千尾
	計		25.6千尾

5 種苗斡旋供給事業

県水産振興センターで生産したガザミ種苗を斡旋し、供給します。

① ガザミ

放流用	秋田県内各漁協に配布	5mm	1,925千尾
-----	------------	-----	---------

6 栽培漁業総合推進対策事業（放流効果実証事業）

マダイ、ヒラメの種苗生産、中間育成、放流及び市場調査を行います。

① 種苗生産（県水産振興センター栽培漁業施設を使用）

マダイ	30mm	550千尾 (4の⑤分を含む)
ヒラメ	25mm	400千尾 (4の③分を含む)

② 中間育成及び放流数

マダイ	85mm	350千尾
-----	------	-------

場所：県内3箇所の漁港・港湾、県水産振興センター栽培漁業施設
ヒラメ 80mm 180千尾
場所：当協会ヒラメ中間育成施設（八峰町八森）、県水産振興センター
栽培漁業施設

③ 放流効果調査（市場調査）

県内各漁協に出向き、マダイ、ヒラメの漁獲量に占める放流魚の状況を産地市場で調査します。

秋田県内各漁協

平成31年4月1日～平成32年3月31日